

コンゴ(共)月例報告  
2017年5月

【ポイント】

- 政府は7月16日に国民議会・地方議会選挙を実施する旨発表。同選挙へ出馬するか否かは、野党内でも意見が分かれている模様。
- 中国商務部副部長がコンゴ(共)を来訪。新規の経済協力案件への署名を行ったほか、既存の中国経済協力サイトを視察。

◎特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」、「ICI BRAZZA」、仏通信(AFP)及び仏ラジオ国際放送局(RFI)による

【内政】

(1)国民議会議員選挙・地方議会議員選挙(県、市)

ア 5日、レイモン・ゼフィラン・ンブル内務大臣は、選挙人名簿の更新作業を5月10日から23日迄、国内全12県にて実施する旨規定した政令を発出した。

イ 11日、7月16日に国民議会議員選挙にかかる第一回投票及び地方議会議員選挙投票を実施する旨の大統領令が発出された。

ウ 18日、ンブル内務・地方分権・地方開発大臣は、国民議会議員および地方議会議員立候補者の受付期間を5月31日から6月10日までと発表した。同日、コンゴ(共)の複数のNGOは、7月16日までには透明性のある選挙を行う条件は整わないとして、政府側に選挙実施日の延期を求めている。

エ 27日、「コンゴにおける民主主義のためのイニシアチブ(IDC)」、「憲法秩序の尊重と民主的な政権交代のための共和国戦線」(FROCAD)等の野党連合であるコンゴ野党連盟(Fédération de l'Opposition Congolaise)のシャルル・ザカリー・ボワオ報道官は、「プール県の『戦争』が継続し、政治犯が釈放されない限り、同プラットフォームは国民議会選挙・地方議会選挙に出馬しないとの見方を示した。他方、社会民主主義のための汎アフリカ同盟(UPADS)等、他の野党は選挙に出馬する意向を示している。

(2)野党・反政府関係者の逮捕

ア 4日付RFIは、2016年から刑務所に収監されている野党CDRC党首であるモDEST・ブカディアに対して、30年間の強制労働を下した旨報じている。ブカディア氏は、2009年に大統領選挙への立候補を表明しており、2014年より「国家内乱罪」の罪に問われていた。

イ 14日付RFIは、ンセミ牧師の特使と見られるジャン＝ギュスターヴ・ントンド氏(昨年既に2度の逮捕歴を有する)が8日以降行方不明になっており、国土安全総局(DGST)に拘束されている可能性がある旨報じている。

2 治安:ブラザビル市内

11日、オコ共和国検事は、ブラザビル市内において、薬物を使用した若者による犯罪を取り締まるために、警察と憲兵隊によるパトロールを強化する旨発表した。

【外政】

1. 中国

(1)ポワント・ノワール経済特区開発計画

16日、サス・ンゲソ大統領は、アクアラ・アティポー経済特区大臣、ブヤ国土整備・大型公共事業大臣、クサー＝マヴング土地問題・公共土地大臣、ファン在コンゴ(共)中国大使とともに、本年1月以降境界画定作業中であるポワント・ノワール経済特区予定地を視察した。

(2)中国商務部副部長の訪問

19日から22日の間、コンゴ(共)を訪問中のQian Keming中国商務部副部長が、コンゴ(共)を訪問した。

(ア)20日、Qian副部長は5事業(経済協力拡大、サル痘対策(贈与70万米ドル)、地上デジタル放送、国内通信網拡大、ポワント・ノワール市内ロアンジリ総合病院への支援。)に署名。

(イ) 21日、Qian副部長は、ブヤ国土整備・大型公共事業大臣、ガノゴ財政・計画・公共資産大臣、オピンバ・スポーツ・体育大臣とともに、中国が建設中の30階建ツインタワー（オフィス、5つ星ホテル（客室数349室））とキンテレ・スポーツセンターを訪問した。

(ウ) 22日、ブラザビル市内にて、サス・ンゲソ大統領とQian副部長は、新国会議事堂の建設にかかる起工式典に参加した。本事業は無償資金協力であり、事業総額は5200万ユーロ。

### (3) バンガ・カヨ石油鉱脈開発計画

20日、中国企業Wing Wah社代表とティステール・チカヤ石油大臣は、ポワント・ノワール市の南東に位置するバンガ・カヨ石油鉱脈にかかる開発計画（20億米ドル相当）につき署名を行った。同石油鉱脈の可採埋蔵量は2億バレル、採掘可能期間は25年。

### (4) リウエソ水力発電所の竣工

29日、サス・ンゲソ大統領は、中国の援助によって建設されたりウエソ水力発電所（ブラザビルから北に約700キロメートル）の完工式に出席した。同工事の費用は540億FCAフラン、発電キャパシティは19.2メガワット。

## 2. その他

### (1) コンゴ(共)・コートジボワール関係

3日、クスー＝マヴング土地問題・公共土地大臣とドゥリ・コートジボワール大使は、土地登記と国有地に関する協力強化に合意した旨発表した。現在、29項目を含んだ合意書を作成中。

### (2) コンゴ(共)・ギニアビサウ関係

4月30日、ブラザビル訪問中のジョゼ・マリオ・ヴァス・ギニアビサウ大統領はサス・ンゲソ大統領と二国間関係等について会談を行った。ヴァス大統領がブラザビルを訪問するのは2016年9月、2017年1月に次いで3度目。

## 【経済】

### 1. 貧困率の推移

3日に発行された世銀報告書は、コンゴ(共)における全国の貧困率は2005年の51%から2015年には36%まで低下したが、農村部における貧困率は64.8%から69.4%に増加した旨発表した。

### 2. 2017年経済成長率予測

5日、世銀はコンゴ(共)の経済成長率予測を発表した。報告書中、2017年の経済成長率は3.1%と見積もられている。

## 【経済協力】

1. 4日、世銀は森林セクターに対する4650万米ドルの支援を発表した。1件目は国際開発協会(IDA)による民間森林セクター支援であり、2017年から2022年までの間4000万米ドル、2件目は地球環境ファシリティ(GEF)による森林セクターによる2017年から2021年までの経済多様化事業650万米ドル。

2. 6日、ジブリラ・イッサ・コンゴ(共)世銀代表は、世銀が対コンゴ(共)経済協力を850百万ドルから10億ドルに増額する旨発表した。増額分は、教育セクター等への使用が想定されている。

(了)